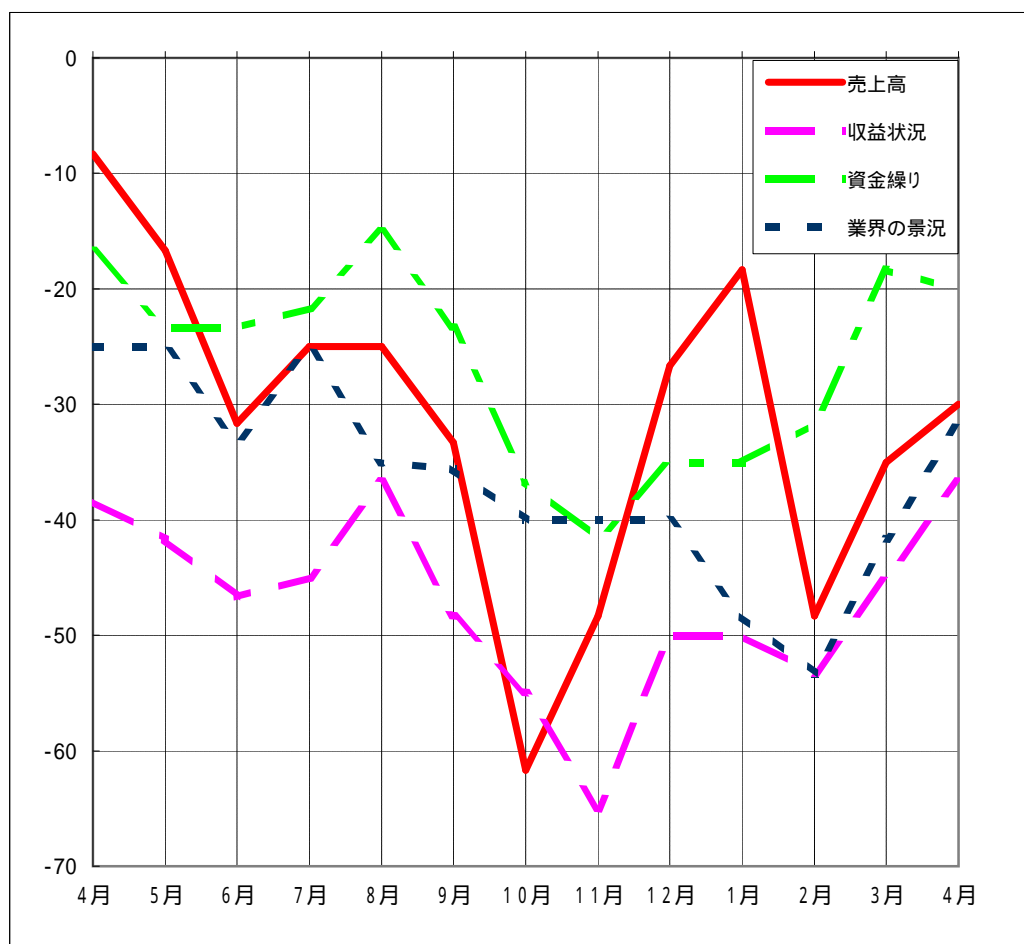


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成16年4月～平成17年4月

単位:ポイント



	h16												h17	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
売上高	-8.3	-16.7	-31.7	-25.0	-25.0	-33.3	-61.7	-48.3	-26.7	-18.3	-48.3	-35.0	-30.0	
収益状況	-38.3	-41.7	-46.7	-45.0	-36.7	-48.3	-55.0	-65.0	-50.0	-50.0	-53.3	-45.0	-36.7	
資金繰り	-16.7	-23.3	-23.3	-21.7	-15.0	-23.3	-36.7	-41.7	-35.0	-35.0	-31.7	-18.3	-20.0	
業界の景況	-25.0	-25.0	-33.3	-25.0	-35.0	-35.6	-40.0	-40.0	-40.0	-48.3	-53.3	-41.7	-31.7	

4月のDI値をみると、前年同月より「収益状況」DIで好転し、「売上高」DI、「資金繰り」DI及び「景況」DIで悪化した。「売上高」DIは前年同月より21.7ポイント悪化し、マイナス30%台に推移した。「収益状況」DIにおいては、1.6ポイント改善し、マイナス30%台を継続中。「資金繰り」DIは、3.3ポイント悪化し、マイナス20%台に推移した。「景況」DIは6.7ポイント悪化し、マイナス30%台に推移した。ここ3ヶ月の傾向値をみると中小企業の業況は、一進一退の様相の中、「収益状況」DI等で一部改善が見られたものの、際立った回復感に乏しく引き続き厳しい状況下にあることが窺える。

組合の特記事項からは、全体的に製造業では、原材料価格の高騰で収益性が厳しいとする報告が多い。だが、「木材・木製品」の一部で、震災の復旧・復興工事が忙しく職人不足の状態であるとする報告もある。また全体的に非製造業においても、前月同様、消費低迷、燃料費高騰、大型店出店による競争激化等、厳しい環境とする報告が多かった。だが、「サービス業」の一部で需要増の明るい報告があった。

中小企業の景況は、総体的に需要低迷、原材料費高騰、先行きの不透明感への危惧等厳しい現況が窺われる。